

広告審査会レポート

日本一般用医薬品連合会・広告審査会 編集／発行

〒101-0032

東京都千代田区岩本町1-8-15（イトーピア岩本町一丁目ビル4階） TEL. 03 (3865) 4911

発行 平成30.12.6

第265回 広告審査会

日 時 平成30年10月19日(金) 14:00～17:00

場 所 日本OTC医薬品協会 第一会議室

審査委員 12名

(第三者委員) 亀井昭宏、古澤康秀、堀美智子、小山千穂

(委員) 栗田宏一、大村忠仁、高濱仁彦、宮城乃弓、関根敦、

江川和子、望月克彦、小林政生

傍聴者 16名

審査対象	テレビ広告	72素材	} 合計130素材
	新聞・雑誌広告	57素材	
	WEB広告	1素材	

審査対象期間 テレビ広告 平成30年7月16日～平成30年9月7日

新聞・雑誌広告 平成30年7月27日～平成30年9月15日

審 査 概 評

広告審査会委員長 亀井 昭宏

○広告審査会の会場である協会の会議室からほど近くの小伝馬町の交差点からすぐ脇の横丁を入った道路上で、東京の下町の風物詩ともなっている恒例のべったら市が開催されている旨のアナウンスを、審査会の終了後に事務局担当者から伺って、早速帰路の途中に立寄ってみた。

細い道路の両側に露店がビッシリと並んで、名物のべったら漬をはじめとする様々な品物が売られ、小雨模様の空の下に大勢の客でごった返して大変な賑わいだった。東京生まれかつ育ちの筆者だが、このべったら市は一度も訪れたことがなく、今回の審査会に出席させて頂いたおかげで思いがけない体験ができて、心和むひと時を過ごすことができたのも何かのご縁かと思うと同時に、年末が近づいてきたという実感を早々と味わった次第である。

○肝心の審査会であるが、今回は新聞広告の審査件数が普段よりやや多い(計57点)感じではあったが、テレビCMの審査件数はいつもとほぼ同数(計72点)であり、ほとんど同一表現のCMをスキップするなどの処置を講じて頂いたこともあって、じっくりと討議を加える形で審査を行なうことができた。

審査に入る前に前回の第264回審査会の際に「注意」の判定となった広告表現、および表現内容に関する「問い合わせ」についての該当広告主からの回答内容の紹介があった。その中で、効能効果外の訴求(表現)ではないかということで「注意」の判定となったドリンク剤のテレビCMについて活発な議論があったことをご報告したい。

広告は「気持ちの疲れにも効果がある」という訴求内容であったが、「気持ちの疲れ」は集中力の維持・改善の読み替えにはならないのではないかと、という疑念からの「注意」判定であったのに対して、該当広告主からの回答では、「疲労には抹消疲労(運動を続けたときに起りやすい筋肉などの疲れ)と中枢性疲労(脳が疲れを感じている状態)に分類され、抹消疲労を“体の疲れ”、中枢性疲労を“気持ちの疲れ”と読み替えることにより『疲労』は体と気持ち両方の疲れを含むものと言えます。(中略)以上により、本CMの『気持ちの疲れ』は、『疲労の回復・予防』と『集中力の維持・改善』の2効能の読み替えであり、新基準通知『新指定医薬部外品の製造販売承認基準の一部改正について(平成29年3月28日薬生発0328第10号)』で示された効能の範囲と考えます。」を主旨とする回答であった。

これに対して、「脳の疲れ」と「気持ちの疲れ」とは必ずしもイコールではなく、気持ちの疲れの方が意味の上ではるかに広義であって、やはり言い換えは妥当とは言えないのではないかという結論になり、結局「注意」の判定は覆えさせないということとなった。

私が感じた問題点は、広告審査会の判断と当該広告主の見解との対立についてであった。他社からの回答にも見られたが、審査会の判断ないし指摘に対して「～と考えます。」「～と思われます。」との表現で全く正反対の見解を提示されている場合に、審査会としてはいかなる対応を行なうべきなのか、あるいは行なうことができるのかが大変気になった次第である。

審査会の判断として、あくまで該当広告主へ結論を押し付けるべきなのか、あるいは判断・指摘に対する反論として、提示された見解に対して無言の反応を示すだけ(結果としては了承したことになるのではないか)に止まるのか、広告審査会の使命と責務に係わる重大な問題であるように感じられた。

広告審査会はあくまで自主規制機関であり、関係者の間で見解の真っ向からの対立も議論の余地としてはあり得るものとして了解するのか、それとも業界としての統一的な見解をまとめ上げるべきなのかは判断に迷うところではあるが、現状の処置(対応)だけでは何かスッキリした気持ちにはなれなかったのは私だけであろうか？

○新聞広告では、ある特定の広告主の出稿による類似の表現内容のものが多数審査の対象となっていて、しかもほとんど同一箇所(複数)について「注意」に該当するとの結論に至ったものが合計で11点も見られたのは、これまでの審査会でも経験のなかったことで、やや異様な印象であった。同種の広告の出稿は今回だけでなく、近年「不適正」あるいは「注意」判定の対象としてほとんど毎回審査会の席上で話題となっている広告ないしは広告主だけに、より綿密な対応が必要であるように思われた。当該の広告を出稿している広告主と協会事務局とは意見の交換等の交流が既になされていると伺っているが、同広告を扱って(制作して)いる広告会社を含めて、基準に依拠した広告表現制作への慎重な対応がなされるよう、強力な指導(?)ないしは助言がなされることを期待したい。

○最後に反省的余談を一言。今回の広告審査会は出席委員が12名であったため、表決の際に賛成・反対が同数となり、委員長決済によって結論に至った事例が3件もあったことで、責任の重さに改めて身が引き締まる思いがした。私個人としては常に公平・客観的・消費者視点重視を心掛けて判断しているつもりではいるが、判断の妥当性については正直なところ多少の迷いを感じることも多く、より心して対応させて頂かなければならないと改めて強く自省した次第である。

審査結果

◎テレビ広告

鎮痛薬（1素材1件）

見 解：＜不適正＞

承認を要する名称の省略

該当基準：承認又は認証を要する医薬品等の名称についての表現の範囲〔基準1(1)〕

参考意見等：ブランド広告であるが、製品の販売名等が明記されていません。

ブランド名等の販売名の共通部分のみを用いる場合など名称の省略を使用する場合販売名を付記又は付言しなければならない。（課長通知 基準1-(2)）

保健薬（1素材3件）

見 解：＜注意＞

用法用量・リスク区分が未記載

該当基準：〔ガイドライン14(2)、ガイドライン23〕

参考意見等：パッケージにはリスク区分の記載はあるが、小さく読み取りづらいため別に記載が必要です。

見 解：＜注意＞

速効的表現になります。

該当基準：効能効果の発現程度についての表現の範囲〔基準3(7)〕

参考意見等：ネクタイの色を変えることで時間の経過を表現しているが、ワンカットの中でスッと治っている描写となっており、速効的表現にあたります。

見 解：＜注意＞

不正確な表現に該当します。

該当基準：広告を行う者の責務〔第3〕

参考意見等：顆粒が出るシーンで内容量が多すぎる表現であり、不正確です。

しみ・全身倦怠用薬（2素材4件）

見 解：＜注意＞

不正確な表現に該当します。

該当基準：広告を行う者の責務〔第3〕

参考意見等：承認基準の注釈として「第3類承認基準」という表現は不正確です。

見 解：＜注意＞

予防的な効能表現(効能外)に該当します。

該当基準：承認等を要する医薬品等についての効能効果等の表現の範囲〔基準3(1)〕

参考意見等：「これからできるシミも」「シミが発生する原因」の表現は予防的表現に該当します。

見 解：＜注意＞

恐怖訴求に該当します。

該当基準：不快、迷惑、不安又は恐怖を与えるおそれのある広告の制限〔第12〕

参考意見等：シミの描写が恐怖訴求に該当します。

ビタミンB₁B₆B₁₂主薬製剤（1素材）

見 解：＜注意＞

不正確な表現に該当します。

該当基準：広告を行う者の責務〔第3〕

参考意見等：承認基準の注釈として「第3類承認基準」という表現は不正確です。

胃腸薬（3素材3件）

見 解：＜注意＞

誤認を与える表現

該当基準：広告を行う者の責務〔第3〕

参考意見等：「全下痢対応」の表現は受診勧奨が必要な場合がないかのような誤認を与えます。

貼り薬・外用剤（1素材1件）

見 解：＜注意＞

ブランド内における比較表現が不正確です。

該当基準：効能効果等又は安全性についての最大級の表現又はこれに類する表現の禁止〔基準3(6)〕

参考意見等：「最高峰」という最大級表現は、ブランド内であり、かつ客観的事実に基づいた場合のみ表現が可能なため、より正確に表記するべきです。

◎新聞広告

貼り薬・軟膏（1素材3件）

見 解：＜不適正＞

愛称の使用禁止

該当基準：承認又は認証を要する医薬品等の名称についての表現の範囲〔基準1(1)〕

参考意見等：「○○○○○の○○」は愛称であり、販売名は「新○○○○」である。
医薬品及び再生医療等製品については、愛称を使用してはならない。
(課長通知 基準1-(4))

見 解：＜注意＞

リスク区分が未記載

該当基準：〔ガイドライン23〕

参考意見等：リスク区分が記載されていません。

見 解：＜注意＞

配合成分の強調表現

該当基準：〔ガイドライン8(3)2〕

参考意見等：「贅沢配合」が配合成分の強調表現となっています。

保健薬（8素材20件）

見 解：＜注意＞

出典の記載

該当基準：広告を行う者の責務〔第3〕

参考意見等：「65歳以上の全国で1800万人」の出典表記がありません。

見 解：＜注意＞

効能効果の保証表現になります。

該当基準：効能効果等又は安全性を保証する表現の禁止〔基準3(5)〕

参考意見等：以下の表現が該当します。

「1日1回飲めば効く」、「1日1回飲むだけで効く」、「5つもの効果効能」、
「ここまで痛みに効く秘密とは」、「131万人ご愛用」

見 解：＜注意＞

最大級表現に該当します。

該当基準：効能効果等又は安全性についての最大級の表現又はこれに類する表現の禁止
〔基準3(6)〕

参考意見等：「最大量配合」は何の最大量なのかの表現がありません。

しみ・全身倦怠用薬（10素材13件）

見 解：＜注意＞

効果保証、体験談に該当します。

該当基準：効能効果等又は安全性を保証する表現の禁止〔基準3(5)〕

参考意見等：以下の表現が該当します。

「8つもの効果」、「ここまでシミに効く秘密とは?」、「1日1回飲めば効く」、「1日1回飲むだけで効く」
また、「シミ・そばかす」を分けて記載することは正確さに欠けます。

見 解：＜注意＞

最大級表現に該当します。

該当基準：効能効果等又は安全性についての最大級の表現又はこれに類する表現の禁止
〔基準3(6)〕

参考意見等：L-システインは承認基準がない薬効群であるにもかかわらず、承認基準の最大量と表現することは不正確です。

便秘薬（1素材1件）

見 解：＜注意＞

安全性の保証になります。

該当基準：効能効果等又は安全性を保証する表現の禁止〔基準3(5)〕

参考意見等：植物成分100%「だから」おなかにやさしいと誤認させるおそれがあります。

植物成分100%は安心・安全といった優良誤認を与える可能性のある表現は根絶すべきである。

江戸時代から300年続く伝統の便秘薬の表現は、安全性の保証を助長させるおそれがあります。

その他（1素材1件）

見 解：＜注意＞

愛称の使用禁止

該当基準：承認又は認証を要する医薬品等の名称についての表現の範囲〔基準1(1)〕

参考意見等：「〇〇の〇〇〇」は愛称であり、販売名は「〇〇〇〇」である。

医薬品及び再生医療等製品については、愛称を使用してはならない。
(課長通知 基準1-(4))

◎WEB広告

貼り薬・外用剤（1素材1件）

見 解：＜注意＞

使用感のデータ広告の禁止

該当基準：効能効果等又は安全性を保証する表現の禁止〔基準3(5)〕

参考意見等：使用感のデータ広告は、2018年のガイドラインの改訂で不可になっています。角質剥離試験のデータ広告は、安全性の保証に該当する可能性があります。

TV CM
審査対象リスト

広告主	商品名	秒数	広告主	商品名	秒数
エーザイ	チョコラBBプラス	60	大幸薬品	正露丸 {糖衣A・クイックC}	60
佐藤製薬	ユンケル黄帝液 cp P ~10/31	15	アラクス	ノシニピュア(小中学生用ノシニピュア)	15
日本臓器製薬	漢方ラックル顆粒	15	シオノギヘルスケア	{セデスハイ・セデスハイG}	30
富山常備薬グループ	キミエホワイトプラス cp	120	ライオン	バファリンルナ i	60
富山常備薬グループ	キミエホワイトプラス cp	120	ライオン	バファリンルナ J	60
富山常備薬グループ	リョウシンJV錠 cp	60	ライオン	バファリンプレミアム	60
武田コンシューマヘルスケア	アリナミンEXゴールド	15	ライオン	バファリンプレミアム	60
エーザイ	チョコラBBP	30	ライオン	バファリン	60
ゼリア新薬工業	ヘパリーゼキング(プラス・EX)	15	ライオン	スマイルホワイトイエ	60
大正製薬	リポビタミンDキッズ	30	ライオン	スマイルホワイトイエ	60
大正製薬	リポビタミンZERO	15	ライオン	スマイルホワイトイエ	60
武田コンシューマヘルスケア	アリナミンゼロ7	15	ライオン	スマイルホワイトイエ	60
ライオン	ストッパ下痢止めEX	60	ライオン	スマイルホワイトイエ	60
ライオン	ストッパ下痢止めEX	60	ライオン	スマイルザメディカルA	60
ライオン	ストッパ下痢止めEX	60	ライオン	スマイルザメディカルA	60
ライオン	ストッパ下痢止めEX	60	ライオン	スマイルザメディカルA	60
ライオン	ストッパ下痢止めEX	60	ライオン	スマイルザメディカルA	60
ライオン	ストッパ下痢止めEX	60	ライオン	スマイルザメディカルA	60
ライオン	ストッパ下痢止めEX	60	ライオン	スマイルザメディカルA	60
ライオン	ストッパ下痢止めEX	60	ライオン	スマイルザメディカルA	60
ライオン	ストッパ下痢止めEX	60	ライオン	スマイルザメディカルA	60
ライオン	ストッパ下痢止めEX	60	ライオン	スマイルザメディカルA	60
ライオン	ストッパ下痢止めEX	60	ライオン	スマイルザメディカルA	60
ライオン	ストッパ下痢止めEX(ストッパエル下痢止めEX)	60	ライオン	スマイルザメディカルA	60
ライオン	スクラートG	60	ライオン	スマイルザメディカルA	60
ライオン	スクラートG	60	ロート製薬	ロートジープロC	15
ライオン	スクラートG	60	ロート製薬	新緑水	15
ライオン	スクラートG	60	ロート製薬	Vロートアクティブプレミアム	15
ライオン	スクラートG	60	参天製薬	サンテFX {ネオ・Vプラス}	15
大幸薬品	正露丸(セロガン糖衣A・正露丸クイックC)	15	武田コンシューマヘルスケア	マイティアCL {アイスクラ}	15
大幸薬品	正露丸(セロガン糖衣A・正露丸クイックC)	15	ゼリア新薬工業	新ウイズワン(ウイズワンエル・ウイズワン坐剤)	15

TV CM
審査対象リスト

広告主	商品名	秒数	広告主	商品名	秒数
ロート製薬	メンソレータム メデイックHゴールド・メデイ	15	サンスタ-	GUMお口のど殺菌スプレー(GUMトラベルセット)	90
久光製薬	エアサロンパスジェットa 東京2020オフィシャル	30	ロート製薬	和漢箋 新ロート防風通聖散錠満量	15
久光製薬	フェイタスZaジサス 大判 cp P ~8/27	15	小林製薬	アイボンWビタミン	15
小林製薬	アンメルツNEO ロング	15	小林製薬	アイボンWビタミン	15
アンファ-	スカルプDメデイカルミノキ5	30	大正製薬	リアップX5プラスローション	30
アンファ-	スカルプDメデイカルミノキ5	30	養命酒製造	養命酒 Pcp ~9/30	30

新聞広告
審査対象リスト

広告主	商品名	媒体名	広告主	商品名	媒体名
大正製薬	リポビタミンライフ	朝日新聞	富山常備薬グループ	リョウシンJ V錠	読売新聞
アンターク本舗	ネオシーダー	読売新聞	興和	ザガードコーワ整腸錠アルファスープラス	朝日新聞
興和	キューピーコーワiプラス	読売新聞	救心製薬	救心	読売新聞
富山常備薬グループ	リョウシンJ V錠	朝日新聞	再春館製薬所	痛散湯	日経新聞
富山常備薬グループ	リョウシンJ V錠	朝日新聞	再春館製薬所	痛散湯	朝日新聞
富山常備薬グループ	キミエホワイトプラス	読売新聞	富山常備薬グループ	キミエホワイトプラス	朝日新聞
救心製薬	救心錠剤	読売新聞	ロート製薬	ロート新緑水	読売新聞
ビオフェルミン製薬	新ビオフェルミンS細粒 新ビオフェルミンS錠	読売新聞	救心製薬	救心	朝日新聞
富山常備薬グループ	キミエホワイトプラス	朝日新聞	再春館製薬所	痛散湯	読売新聞
再春館製薬所	痛散湯	朝日新聞	興和	キャベジンコーワa	日経新聞
奥田製薬	奥田胃腸薬	読売新聞	武田コンシューマーヘルスケア	タケダ漢方便秘薬	朝日新聞
ビオフェルミン製薬	新ビオフェルミンS細粒 新ビオフェルミンS錠	日経新聞	武田コンシューマーヘルスケア	アリナミン製品	読売新聞
富山常備薬グループ	リョウシンJ V錠	読売新聞	小林製薬	カブナーズ	読売新聞
興和	キューピーコーワコンドロイザー	日経新聞	再春館製薬所	痛散湯	日経新聞
小林製薬	丸薬七ふく	朝日新聞	救心製薬	救心錠剤	日経新聞
富山常備薬グループ	リョウシンJ V錠	朝日新聞	健栄製薬	酸化マグネシウムE便秘薬	朝日新聞
救心製薬	救心	読売新聞	興和	キャベジンコーワa顆粒	読売新聞
富山常備薬グループ	リョウシンJ V錠	読売新聞	再春館製薬所	痛散湯	読売新聞
富山常備薬グループ	リョウシンJ Vの軟膏	朝日新聞	富山常備薬グループ	リョウシンJ V錠	読売新聞
富山常備薬グループ	リョウシンJ V錠	朝日新聞	大正製薬	リポビタミンライフ	朝日新聞
第一三共ヘルスケア	マキロンかゆみどめ液P マキロンかゆみどめパッチP	朝日新聞	あかひげ薬局	ストルピンMカプセル ヘクターゲロン	読売新聞
再春館製薬所	痛散湯	読売新聞	富山常備薬グループ	キミエホワイトプラス	朝日新聞
救心製薬	救心	日経新聞	富山常備薬グループ	キミエホワイトプラス	朝日新聞
大正製薬	リポビタミンD	朝日新聞	大正製薬	リポビタミンライフ	日経新聞
富山常備薬グループ	リョウシンJ V錠	朝日新聞	大正製薬	リポビタミンライフ	読売新聞
興和	キューピーコーワコンドロイザー	読売新聞	大正製薬	リポビタミンライフ	日経新聞
富山常備薬グループ	リョウシンJ V錠	朝日新聞	救心製薬	救心	読売新聞
大正製薬	リポビタミンライフ	朝日新聞	町田製薬	たこの吸出し	読売新聞
富山常備薬グループ	キミエホワイトプラス	朝日新聞			